

令和5年度健康部の主な取り組みについて

資料1

No.	担当課	事業概要	取組状況
1	健康政策課	◎ 保健所・保健センター駐車場の整備 来場者の利便性向上のため、新たに駐車場用地を取得し、駐車場台数を確保。	令和5年4月3日 土地売買契約締結 令和5年4月28日 所有権移転登記完了 令和5年5月15日 土地引渡し R6年度以降、農地転用後に駐車場整備・供用開始予定
2	健康政策課	◎ 災害時に備えた衛星インターネット等の整備 災害時に保健所内に設置する臨時救護基幹センターの通信体制を強化するため、災害に強い通信手段として衛星インターネット、衛星電話を整備。	令和5年8月 衛星インターネット整備 令和5年12月 衛星電話整備
3	健康政策課	○ 健康とよはし推進計画(第3次)の策定 現計画の最終評価を踏まえ、誰一人取り残さない健康づくりを推進するための新たな計画を策定。 計画期間:令和6年～令和17年(12年間)	令和5年12月 福祉教育委員会 令和6年1月～2月 パブリックコメント 令和6年2月 豊橋市健康なまちづくり協議会
4	健康政策課	○ 予防接種事業の推進 ○風しんワクチンの予防接種接種費用について公費負担対象者を拡大。	当初予定どおり
		○風しん抗体検査 風しんのまん延防止を図るため、過去に抗体検査実施歴のない妊娠を希望する女性等に加え、40歳から57歳までの男性を対象に、全額公費負担により市内医療機関や事業所健診等での抗体検査を実施。	当初予定どおり
5	健康政策課	○ 予防接種事業の推進 ○HPVワクチン予防接種 新たに対象となった9価ワクチンが追加。	積極的勧奨差し控えの間に接種機会を逃した方及び定期接種対象者の予防接種未完了者に対し個別通知
		積極的勧奨差し控えの間に自費で接種された方に対する償還払い。	令和4年7月～令和7年3月31日
6	健康政策課	◎ 予防接種事業の推進 ○帯状疱疹予防接種 帯状疱疹ワクチン接種の費用助成。	助成額:生ワクチン1回4,000円 不活化ワクチン1回10,000円(2回まで)
7	健康政策課	◎ ICTを活用した糖尿病予防事業(内閣府デジタル田園都市国家構想交付金) ICTならではのデータとつながりを活用し、市民の生活導線上のコミュニティ(自治会・職場・家庭)への集団ベースの介入を行い、行動変容に導かれる社会環境を整備する。	
		○ICTでデータに基づく野菜摂取の環境づくり市内2つのモデル地区の住民の栄養調査や分析を実施。 またモデル地区内のスーパーマーケットと協働し陳列の工夫などによる野菜摂取量促進を図り、地区内の小学校とも連携し、栄養教諭による食育授業を実施。	令和5年8月～10月 モデル地区の住民181人に簡易検査キットとサポートアプリの提供による栄養調査・分析を行い、葉酸の不足及びナトリウムの過剰摂取傾向がわかった。 令和5年9月～11月 モデル地区内のスーパーマーケット2店舗に、野菜摂取量推定機器の設置と、野菜が購入しやすい陳列や掲示の工夫等により、住民の野菜摂取量促進を図ったほか、同地区内小学校2校と連携し、野菜摂取量推定機器を活用した栄養教諭による食育授業を行い、こどもだけでなく家庭の野菜摂取量の増加も促した。 スーパーマーケットの測定結果では、測定者の野菜摂取量平均が250g/日相当であり、野菜が不足していることがわかった。
		○ICTで取り組む健康づくり(健康経営)	健康経営に取り組む市内事業所向けの本市支援メニューにおいて、血糖値モニタリングデバイスや行動変容アプリなどICTを活用したメニューを充実させた。
		○ICTで仲間と取り組む健康づくり(こどもの口腔ケア) こどもの口腔ケアは、将来的な糖尿病予防につながることから、(株)ポケモンと連携し、市内小学2年生に対し、家庭での歯みがき習慣化と定期的な歯科受診を促す取組み。	令和5年12月～1月 歯みがきできたねシール及び台紙を使った家庭での歯みがきと、市内56歯科医院による無料歯科健診の実施
8	健康政策課	◎ 睡眠を起点とした生活習慣病改善アプローチ 睡眠が可視化できるデバイスを活用し、生活習慣やBMIの変化をモニタリングすることで、睡眠改善を起点とした生活習慣改善アプローチの効果を検証する。	令和6年1月 モニター企業及びサービス提供事業者との調整

No.	担当課	事業概要	取組状況
16	健康増進課	○ 疾病(成人保健)対策の推進 がんや生活習慣病を予防するうえで、定期的に検診を受けることが大切なため、受診のしやすさ等利便性を図る方法として、電子システムによる受診券申込システムの構築を実施。	令和5年度申込者数 819件
17	健康増進課	◎ 若年がんに対する患者在宅療養支援事業 医学的に回復の見込みがないと診断された40歳未満のがん患者の在宅療養生活について、当該患者及びその家族の経済的負担の軽減を図り、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう支援する。	令和5年7月1日より実施
18	健康増進課	○ 健康な地域づくりの推進 ○ 豊橋いきいき健康マップ作成 個人が運動を継続できるきっかけづくりとして、校区の見どころを取り入れた健康マップを自治会と協働で作成し、健康を支える環境づくりの一つとする。	いきいき健康マップ21校区 (令和5年度末時点)
19	健康増進課	○ 豊橋市国民健康保険保健事業実施計画(第2期)の策定 豊橋市国民健康保険の被保険者の健康増進及び生活習慣病の発症や重症化予防を目的に「豊橋市国民健康保険保健事業実施計画(第2期)」を策定。	・現計画総括(平成30年～令和5年) ・新計画策定(令和6年～令和11年)
20	健康増進課	○ 特定健康診査等の啓発の充実 特定健康診査の受診率向上のため、YouTubeでのバンパー広告を実施。 特定保健指導の実施率向上のため、40歳から60歳までの特定保健指導の対象者に対し、生活習慣病の発症リスク等を記載した情報提供冊子を作成。	当初予定どおり
21	こども保健課	◎ 伴走型相談支援 すべての妊婦および0歳から2歳の乳幼児を養育する子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ。	令和5年4月事業開始。 妊娠8か月アンケートを開始し、個別性に合わせた相談支援を実施。
22	こども保健課	◎ プレコンセプションケアセミナーとLINE相談(性と健康の相談センター事業) プレコンセプションケアを知り、今や将来の自分の健康だけでなく次世代の健康につながる姿を目指し、セミナーと相談を実施する。参加者数やアクセス数、相談数等より評価。	
		○ 一般向けWEBセミナー(アーカイブあり)	令和6年1月22日実施 (アーカイブは令和6年2月末まで)
		○ 企業向けWEBセミナー 「とよはし健康宣言事業所」の取り組みの一環として実施。	令和6年2月6日実施
		○ LINE相談	LINE相談: 令和6年1月～2月末実施
23	こども保健課	○ 産後ケア事業 多胎産婦の産後ケア事業の利用促進を図るため、多胎産婦の利用に係る利用料の加算を廃止。	令和5年4月開始
24	こども保健課	○ 小児慢性特定疾病自立支援事業 小児慢性特定疾病児童等交流会の再開。	現地とオンラインのハイブリット型で開催 講演だけでなくボッチャ体験を併せて実施
25	こども保健課	○ 豊橋市母子保健推進計画(第3次)の策定 健康とよはし推進計画に包含	No.3と同様
26	生活衛生課	○ 換気の見える化事業の推進 飲食店等の集客施設において、二酸化炭素濃度等の空気環境を測定し、適切な換気を実施している施設に対し「換気対策取組店」ステッカーを交付。	取組み実施中
27	生活衛生課	○ 食品衛生指導事業 毎年度策定する「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づく事業者への監視指導と「豊橋市ええじゃないかHACCP推進事業」の実施。	令和5年度の食品衛生法に基づく監視指導実施予定数は1690件
28	生活衛生課	○ ペット防災対策の推進 ペット同行避難について、防災講話や実働訓練をとおして普及啓発を実施。	・ペット同行避難訓練 : 3回実施 ・避難所利用計画相談会 : 1回実施

No.	担当課	事業概要	取組状況
29	生活衛生課	<p>○ 豊橋市動物愛護センター(仮称)整備事業 動物の愛護や犬・猫の譲渡、災害時の動物の救護などの拠点となる施設整備の推進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地取得 令和5年4月に売買契約 6月に引き渡し完了 ・計画地の公表 4月に定例記者会見 ・地質調査 令和5年7月～10月 ・設計 令和5年5月～令和6年2月
30	食肉衛生検査所	<p>○ と畜場HACCP推進事業 東三河食肉流通センターが実施するHACCPに基づく衛生管理の実施状況の検証と指導。</p> <p>○微生物試験</p> <p>○現場検査</p>	<p>件数:牛・豚各5検体/月×12ヶ月=120件 指導:各月で検査結果をフィードバックし、基準値を逸脱した場合は、関係団体と改善策について協議。</p> <p>件数:外部検証実施計画に基づき実施。 指導:不適事項について指導票により、改善をするよう指導。 (令和5年4月～12月)</p>